

第11回

こまえ



平和

いのちの音が聞こえますか

戦後70年

昔 この町で
今も世界のどこかで

フェスタ2015

8月2日(日)

13:30~16:30(開場12:30)

狛江エコルマホール

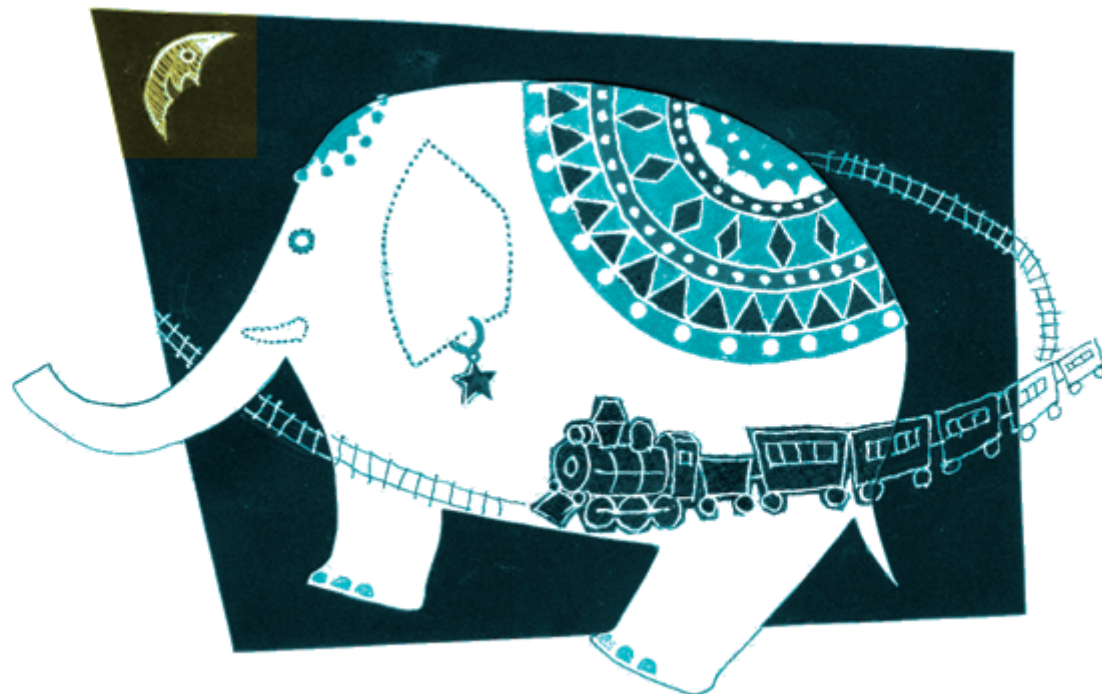
(小田急線狛江駅北口 Odakyu OX4階)

協賛金 100円以上 ぜひご協力ください。

(学生・子ども・障がい者は無料)

手話通訳・パソコン要約筆記あり

保育あり(2歳~就学前) 要予約7/27まで



♥お話

「おばあちゃんのおはなしきいて」

岩崎京子 (児童文学作家・プロフィール裏面)

朗読: 箕浦康子 (劇団民藝・プロフィール裏面)

♥合唱構成

「ぞうれっしゃがやってきた」

市民公募による平和フェスタ合唱団 (裏面参照)

♥体験談

「東京大空襲」

伊藤幸恵 (狛江市在住)

♥琉球舞踊

玉城流喜天の会 宇夫方路琉球舞踊研究所

♥朗読劇

『狛江市平和都市宣言』

◇平和を願う展示 (エコルマホールホワイエ)

川柳・俳句・短歌・絵手紙など公募作品の展示
フリースクール KOPPIE (コピエ) による貼り絵
原爆写真、東京大空襲、狛江の空襲の展示
平和図書コーナー、折り鶴コーナー ほか

◇中央公民館にてパネル展示 8月10日(月)~12日(水)



今回お話をさせていただく
岩崎京子さんは、教科書で
みなさんも良くご存じの、
「かさじぞう」の作者です。

【主催】こまえ平和フェスタ実行委員会【後援】狛江市・狛江市教育委員会・狛江市社会福祉協議会・狛江市音楽連盟

【共催】狛江ぞうれっしゃ合唱団

【問い合わせ】 03-3480-7477(西尾) HP: <http://www.komae-tokyo.org/festa/>

狛江市平和都市宣言

われわれ狛江市民は、「日本国憲法」の前文と世界の恒久平和を達成するという精神および第9条に記された「戦争の放棄、交戦権の否認」を、狛江市および狛江市民の行動原理として高く掲げたい、と思う。

われわれはこの行動原理は、ヒロシマ、ナガサキ、第五福竜丸と三度にわたる原爆被爆の痛切なる体験にもとづき、かかる悲劇が二度とふたたび人類社会においてくりかえされてはならないとの確信にもとづくものである。

われわれは、今日の国際社会がわれわれの念願にもかかわらず、絶えざる核軍拡競争と、軍事的緊張の連続であるという事実を深く憂慮し、核軍縮こそ、人類の生存にとって最も優先させるべき課題であるとの認識のうえにたって、全ての核保有国にたいし、核兵器の研究、実験、開発、配備を停止すること、および、率先して核兵器の削減をおこなうこと、および、非核保有国をも含めた核軍縮交渉を開始することを希望する。

われわれの海や大地は、戦争のために汚されることがあってはならず、人類の生存のために利用されるべきものである、と確信するがゆえに、非核三原則を守り、狛江市および狛江市民は、各平和宣言都市と手を結び、核兵器完全禁止・軍縮、全世界の非核武装化にむけて努力することを宣言する。

(昭和57年6月21日 東京都狛江市議会)

岩崎京子さんプロフィール

1922年 東京生まれ。恵泉女学園高等部卒業。
1956年 短編『さぎ』で児童文学者協会新人賞受賞。
1963年 『シラサギ物語』で講談社児童文学作品賞受賞。
1970年 『鯉のいる村』で野間児童文芸賞、芸術選奨文部大臣賞受賞。
1974年 『花咲か』で日本児童文学者協会賞受賞。
2010年 『建具職人の千太郎』で、第40回赤い鳥文学賞受賞。
90歳を超え、児童文学界の大御所の一人。



「平凡でつましい家庭の生活も、花の青春も、戦争に出会うと、いともかたんにふみにじられてしまいました。いちばんつらいのは人間が人間を信じられなくなる心の荒廃ではなかったでしょうか。」

(自著「火の壁をくぐったヤギ」あとがきより)



箕浦康子さんプロフィール

岐阜県岐阜市出身、俳優座養成所13期、劇団民藝附属教室を経て、1966年劇団民藝入団。現在も劇団民藝に所属し、舞台等で活躍。「るつぽ」エリザベス・プロクター役で紀伊国屋演劇賞個人賞受賞。狛江市内の「朗読と民話の会」では、長年講師を務めている。2015年は、劇団民藝4月公演「冬の時代」、6月公演「クリーム之夜」に出演。

合唱構成「ぞうれっしゃがやってきた」を一緒に歌いませんか？



戦争中に、本当にあったお話を、大人と子どもの合唱で歌います。

合唱経験のない方でも大丈夫！発声の基礎や楽譜の読み方などもみんなで勉強しながらの練習です。

歌を通して戦争のこと、平和についても学び、考える機会です。

親子での参加、もちろん子どもだけの参加もお待ちしています！

【練習日程】 6月27日(土)、7月4日(土)、12日(日)、19日(日)、25日(土)
いずれも中央公民館視聴覚室にて10時～12時。参加費無料(楽譜有料)